

金城ヨシヒデだより



名護市議会議員 金城善英 議会報告

ごあいさつ



議会報告



金城善英 HP

から高校3年生までの医療費の窓口無料化も始まりました。大学等進学で返済のない給付型奨学金の創設も目前です。
 皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。

新元号が「令和」に決まり、「平成」も残すところあとわずかとなりました。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、平成最後の名護市定例会において、初当選以来連続67回目の一般質問を無事終えることができました。

これも偏に党員・支持者・地域の皆様の力強いご支持・ご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。新たな時代に向けて、「小さな声を聞く力」をしっかりと養い市民の皆様の生活向上、市勢発展のために一層努力して参ります。

昨年2月の渡具知新市長誕生以来、市長公約が次々と飛躍的に実現しております。指定ごみ袋の半額化に始まり、学校給食費、保育料の無償化が実施され、さらに今月4月

第194回名護市定例会(3月定例会)は、平成31年3月1日から3月26日までの会期で行われました。渡具知市長による平成31年度施政方針が示されるとともに名護市一般会計予算含む市長提出議案12件、報告1件、同意1件、また、追加議案として平成30年度名護市一般会計補正予算(第7号)を含む市長提出議案7件、議員提出の意見書案9件が審議されました。審査の結果につきましては名護市議会ホームページか「なご市議会だより」第121号(6月初め配布)の議案処理結果一覧をご覧ください。

3月定例会一般質問から要旨

ここでは、今定例会でのヨシヒデの一般質問の要旨をご報告いたします。

一、SDGsの取り組みについて

質問(1) SDGsとは(持続可能な開発目標)の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットで採択された国際社会共通の目標です。誰ひとり取り残さないことをを目指し、先進

質問(2) 食品ロス削減の取組みについて

本来食べられる食品を廃棄する「食品ロス」が日本で年間646万トン(平成27年度推計)と言われています。食品ロス削減のために本市はどういうに取組むか

答弁 食品ロス削減に関する取組み事例などを参考に市民、事業者等へ啓発及び協力を求めていきたい。

質問(3) 海洋ごみ対策について

市内の海岸がいわゆる海洋ごみ(プラスチック容器、ペットボトルなど)で汚れて見苦しい情景が散見されます。そこに住む人々だけでなく観光で訪れる人々がきれいな沖縄の海に親しみ、戯れたりする機会を失うことになり、さらにはマイナスイメージを植え付けてしまい、再び訪れる思いも失せることに繋がります。

答弁 海岸漂着物となる廃棄物の適正処理や特にプラスチック類の漂着物が多いことを鑑み、プラスチック・ビニールごみの削減について啓発していきたい。

質問(1) 市内公共施設のネーミングライツ導入の取組みについて

(裏面へ)

(1面からつづく)

ア、新名護球場のネーミングライツ導入の取組みについて
イ、あけみおスカイドームやそのほかの公共施設はどうか

答弁 ア、今年度、募集条件、選考方法、ネーミングライツパートナーの決定方法をまとめる
委員会において審議、決定していただく。
イ、今回は、野球場のみの募集です。他施設については、総合的に判断する。

三、消防行政について

質問 (1) 久志消防署建物周囲が地盤沈下している
が原因と復旧について
答弁 原因については、軟弱地盤による残留沈下
が考えられ、復旧については、関係部局の協力を得て基礎調査と工法を検討し修繕に取組む。

四、北部振興について

質問 (1) 去った1月25日の「名護市の北部会館で開かれた2018年度北部振興会(会長・伊集盛久東村長)」の第1回総会において、沖縄北部法人会の石川幸延会長が伊集会長に「伊江空港の整備活用および伊江・本部間の架橋建設」を求める要請書を手渡した。との新聞報道がありました。北部振興会では今回の要請を受け、次の評議会で議論するとしていますが、やんばるはひとつ、北部はひとつという観点から北部地域の発展のための今回の要請を本市はどうのように受け止めていますかお伺いします。

答弁 非常に重要と受け止めている。今後、要請を受けた北部振興会において検討を進めて行くことになるが、本市としてその実現に向けて行なうことはひとつの観点から北部地域の発展のための今回の要請を本市はどうないように受け止めています。

五、教育行政について

質問 (1) 児童虐待防止について
 「お父さんにぼう力を受けています。(中略)先生、どうにかできませんか」小学校のいじめアンケートにこう回答していた小学4年生栗原心愛(みあ)さん(10)が死亡し、両親が傷害容疑で逮捕された痛ましい事件がありました。そこで、ア、本市における児童虐待を受けている、あるいは虐待の疑いのある児童生徒の実態について、児童虐待から子どもを守るために地域住民や行政の役割について

答弁 ア、平成30年度は、16件 イ、未然防止に今後も引き続き行う。

質問 (2) 学校給食の食物アレルギー対応について
 ア、食物アレルギーを有する児童生徒の実態は?
 イ、献立によつては弁当を持参する児童生徒の実態について
 答弁 アとイ、2名が給食の提供を停止して弁当を持参。ウ、本人、保護者の負担軽減を検討。

質問 (3) 国立琉球大学医学部北部枠の実績について
 答弁 名護高校フロンティア科から現役生1名、卒業生2名が琉大医学部へ合格しています。

質問 (4) 国立大学付属の学校(小・中・高・学部など)の誘致ができないいか
 答弁 地域のニーズの有無や実現可能性などについて、今後の研究課題とさせていただく。

六、公園整備について

質問 (1) 大中区への公園整備について
 具体的には旧崎山図書館で現在教育委員会市史編さん室を将来的には新博物館に移動し、跡地は公園にしてほしいとの要望があります。

答弁 地域の皆さんのお意見を伺い検討したい。



やさしく、深く、面白く、役に立つ
政治を毎日わかりやすくお伝えする
公明新聞を読んでみませんか？
日刊(1ヶ月 1,887円/税込)
激しく移り変わる社会・政治の動きを正確
な報道で伝えてまいります。
お申し込みは 金城ヨシヒデ 0980-54-1259

質問 (1) 屋我地地域の相続不明地の実態と対応について
 答弁 「所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法」に基づき対応していく。

八、施政方針から

質問 (1) 公共交通が不便な地域でのデマンド交通等の実証実験について
 答弁 現在作業中であり、今後、関係者との協議が整い、かつ、予算の確保ができましたら、実施していきたい。

質問 (2) 平成30年度に策定された国立療養所沖縄愛楽園土地等利活用基本計画について

答弁 本計画を基に、事業者等へヒアリングを行なながら、実現に向けて取り組む。

質問 (3) 給付型奨学金制度の創設についての取組み状況と入学支度金の給付について
 答弁 現在、毎年5名程度、月額5万円を検討中